



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月14日

上場会社名 ビートレンド株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4020 URL https://www.betrend.com
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上 英昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理担当 (氏名) 本多 誠一 TEL 03 (6205) 8145
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	212	—	△2	—	△2	—	△2	—
2020年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	△2.17	—
2020年12月期第1四半期	—	—

(注) 1. 2020年12月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第1四半期の数値及び2021年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2021年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	713	615	86.2
2020年12月期	700	552	78.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 615百万円 2020年12月期 552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	986	15.0	146	32.2	145	37.8	100	31.8	94.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	1,058,500株	2020年12月期	1,028,800株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	－株	2020年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	1,049,154株	2020年12月期1Q	－株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料は、TDnet及び当社ホームページにて同日開示しております。なお、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、証券アナリスト、機関投資家向けの決算説明会を中止することといたしましたが、決算説明の動画を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。また、当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策により再び緊急事態宣言が出される中で停滞し、当社の主たる顧客層である小売業や飲食業等においても、営業自粛や時短要請などの影響を受け、企業活動が大きく制限されました。

当社においてはこのような環境の下、CRMサービス全体としては、2021年3月末時点でのARRが701,071千円(2020年12月末比 36,520千円増)に増加しました。

サービス別には、スマートCRMサービスが2021年3月末時点では、ARR417,305千円(2020年12月末比 30,699千円増)に増加し、またメールマーケティングサービスは、2021年3月末時点のARRは、276,475千円(2020年12月末比 5,640千円増)に増加しました。

営業活動においては、新規顧客獲得に関する積極的な取り組みを行い、新型コロナウイルス感染症による影響下においても比較的好調なスーパーマーケット等の小売業からの受注がありました。CRMサービス全体としては、契約社数632社(2020年12月末比 3社増)に増加しました。サービス別では、スマートCRMサービスの導入社数は2021年3月末時点で147社と、顧客単価の高い4社が増加、顧客単価の低い5社が解約となり、2020年12月末に比べ1社減少となっています。またメールマーケティングサービスの導入社数は2021年3月末時点では485社と2020年12月末に比べ4社増加しました。

2021年3月末時点での会員数は、17,785,595名となり、既存のスマートCRM導入企業による着実な会員獲得の活動もあり、2020年12月末に比べ974,751名増加となりました。これに伴い、従量料金の売上も増加しスマートCRMの売上全体の増加に寄与いたしました。

また、初期費用、カスタマイズ開発、SMS費用等で構成されるカスタマイズサービスについては、2020年11月よりサービス提供を開始したモバイルオーダーに関わる取り組みが功を奏し、新規売上につながりました。このため、モバイルオーダーの販売に伴う店舗用機器類の仕入等の売上原価が一時的に増加いたしました。

売上原価、販売費及び一般管理費については、ソフトウェアの開発の強化や品質・運用水準を向上させるための投資を積極的に行なった為、人件費及びソフトウェア外注費で構成されるサービスの運用費用が増加しました。また、流通・小売業への営業展開に伴って増加傾向にある新規商談に対応するため、営業部門及び営業支援部門の人員の新規採用を行いました。IR活動強化に伴う人員の新規採用も行いました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は212,530千円、営業損失は2,949千円、経常損失は2,901千円、四半期純損失は2,280千円となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は557,014千円となり、前事業年度末と比較して3,556千円の増加となりました。これは主に、法人税納付による現金及び預金の減少3,162千円、売上高増加に伴う売掛金の増加2,757千円及び流動資産その他の増加3,226千円によるものであります。

固定資産は156,754千円となり、前事業年度末と比較して10,201千円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の減少98千円、減価償却費の増加によるソフトウェアの減少11,599千円、ソフトウェア仮勘定の増加4,721千円、新オフィスの敷金払込に伴う敷金の増加等による投資その他の資産の増加17,177千円によるものであります。

この結果、総資産は、713,769千円となり、13,758千円の増加となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は94,261千円となり、前事業年度末と比較して44,096千円の減少となりました。これは主に、仕入の増加による買掛金の増加8,295千円、法人税納付による未払法人税等の減少24,004千円、流動負債その他の減少28,407千円によるものであります。

固定負債は4,432千円となり、前事業年度末と比較して5,020千円の減少となりました。これは、借入金の返済による長期借入金の減少5,020千円によるものであります。

この結果、負債合計は98,693千円となり、前事業年度末に比べ49,116千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は615,075千円となり、前事業年度末と比較して62,874千円の増加となりました。これは、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少2,280千円、オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資及び新株予約権の行使に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ32,577千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月14日に公表いたしました2021年12月期の通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	440,777	437,614
売掛金	97,478	100,235
仕掛品	3,540	4,246
その他	11,817	15,043
貸倒引当金	△155	△126
流動資産合計	553,458	557,014
固定資産		
有形固定資産	4,319	4,220
無形固定資産		
ソフトウェア	97,925	86,326
ソフトウェア仮勘定	1,841	6,563
その他	350	350
無形固定資産合計	100,116	93,239
投資その他の資産	42,117	59,294
固定資産合計	146,553	156,754
資産合計	700,011	713,769
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,877	34,172
1年内返済予定の長期借入金	16,668	16,688
未払法人税等	25,789	1,785
資産除去債務	6,269	6,269
その他	63,753	35,345
流動負債合計	138,357	94,261
固定負債		
長期借入金	9,452	4,432
固定負債合計	9,452	4,432
負債合計	147,809	98,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	276,568	309,145
資本剰余金	206,568	239,145
利益剰余金	69,065	66,785
株主資本合計	552,201	615,075
純資産合計	552,201	615,075
負債純資産合計	700,011	713,769

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	212,530
売上原価	101,934
売上総利益	110,596
販売費及び一般管理費	113,545
営業損失(△)	△2,949
営業外収益	
為替差益	83
その他	1
営業外収益合計	85
営業外費用	
支払利息	37
営業外費用合計	37
経常損失(△)	△2,901
税引前四半期純損失(△)	△2,901
法人税、住民税及び事業税	259
法人税等調整額	△880
法人税等合計	△620
四半期純損失(△)	△2,280

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年1月18日付で、みずほ証券株式会社からオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資の払込みを受け、資本金が31,684千円、資本準備金が31,684千円増加しました。

また、当第1四半期累計期間において、新株予約権の行使による新株発行を行い、資本金が892千円、資本準備金が892千円増加しました。

これらの結果、当第1四半期会計期間末において資本金が309,145千円、資本準備金が239,145千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）

当社はbetrend事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。